

令和5年

岡山県自主パトロール隊通信（第7号）

令和5年7月13日

岡山県警察本部

今回は、倉敷警察署管内の『川崎医療福祉大学くらしき防犯教室「ますかっち」』と児島警察署管内の『赤崎小学校区防犯パトロール隊』を紹介します。

1 川崎医療福祉大学くらしき防犯教室「ますかっち」～（倉敷警察署管内）

- (1) 発足年月日
平成15年4月1日
- (2) 組織構成
中尾竜二（なかお りゅうじ）顧問以下、現役の川崎医療福祉大学大学生^{こんどうゆうほ}
（現在の代表：近藤優歩）

- (3) 発足経緯
平成15年に、「学生である自分達にできる活動をしよう」と小学校の登下校見守り活動を始め、現在では高齢者に対する防犯講話等も積極的かつ継続的に実施しています。



- (4) 活動内容
主な活動は、毎週1回の小学生の登下校時の見守り活動、月1回の高齢者に対する防犯講話や寸劇であり、岡山県学生防犯ボランティア連絡会「おにたいじ」にも加入しています。

- (5) 今後の活動
コロナ禍の真っ只中においては、防犯講話や寸劇はなかなか思うようにできませんでしたが、コロナに関する規制も緩和された今後は、より一層、子供達や高齢者をはじめとした地域住民の安全・安心のために活動していきたいです。



2 赤崎小学校区防犯パトロール隊～(児島警察署管内)

- (1) 発足年月 平成17年10月
- (2) 組織構成等 こんどう いさお 近藤 勲 隊長 以下約50名 (地域住民)

(3) 発足の経緯

赤崎小学校区防犯パトロール隊は、地域の安全で安心なまちづくりを目指すことを目的に、地域に居住する町内会の有志、PTA、教職員が集まり、平成17年10月に発足しました。

赤崎小学校区防犯パトロール隊では、自主防犯パトロール、あいさつ運動、児童の登下校の見守り、犯罪の未然防止、地域の防犯意識の向上などに取り組んでいます。



(4) 活動状況

赤崎小学校を中心に、犯罪の発生しやすい場所や危険箇所等を選定し、月平均22日、隊員が決まった場所に立ち、児童の登下校時に通学路での声かけ、見守り活動を主に行っています。

また、通学路の危険箇所を把握し、隊員のみならず地域住民との情報共有や意見交換を行っています。

活動時には緑色の防犯ベスト、帽子を着用しており、児童の安心感と地域全体での防犯意識の高揚を図っています。

(5) 事例紹介

学校に通う児童との交流等にも積極的に取り組んでいます。

コロナ禍前までは、例年、赤崎小学校グラウンドでパトロール隊の隊員と児童たちの顔合わせ会を行っており、各隊員の顔を知ってもらおうと共に、日頃の感謝を隊員に直接伝える場を設け、児童との絆を深めています。

このような日々の活動を通して、児童や保護者の方々、学校との信頼関係を築き、地域住民の安心、安全を守っています。



(6) 今後について

現在隊員の高齢化が進んでおり、若い方にパトロール隊に参加していただけるよう、地域住民の方に私たちの活動ややりがい等を伝えたいと思います。

また、「無理せず、楽せず」というスローガンを掲げており、今後も地域の安全・安心を守り、児童たちを見守るパトロール活動を続けていきたいと思っています。

～ 警察本部からのお知らせ ～

夏型犯罪にご注意を！！

夏は、換気や涼をとるために部屋の窓や玄関を開ける機会も多く、また、夏休みやお盆などで家を長期不在にすることが多いことから、空き巣、忍び込み等の侵入窃盗が増加する季節になります。

短い時間の外出であっても、施錠は必ず行い、犯罪から身を守りましょう。